



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月2日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	101,335	24.7	11,118	71.9	15,533	166.0	10,965	163.6
2020年12月期第3四半期	81,249	18.8	6,467	49.8	5,839	61.1	4,159	59.7

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 23,683百万円 ( %) 2020年12月期第3四半期 1,789百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	166.58	166.52
2020年12月期第3四半期	62.68	62.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	277,334	252,976	91.2
2020年12月期	262,559	239,103	91.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 252,884百万円 2020年12月期 239,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		67.00		68.00	135.00
2021年12月期		57.00			
2021年12月期(予想)				58.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

2020年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

2021年12月期(予想)特別配当 第2四半期末42円00銭 期末43円00銭

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	20.2	16,100	24.8	19,700	55.4	14,200	58.0	215.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	68,562,462 株	2020年12月期	68,562,462 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	2,958,290 株	2020年12月期	2,603,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	65,829,289 株	2020年12月期3Q	66,366,221 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。  
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9
(企業結合等関係)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）における世界経済は、各国の大規模な財政出動の効果及び新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により緩やかな回復が持続しましたが、期間後半において、資源価格及び物流費の高騰、並びに半導体の供給不足及び東南アジアにおける新型コロナウイルスの感染再拡大により、経済活動の停滞が見られました。米国経済は、ワクチン接種の進展による感染状況の改善及び大規模な経済対策により、堅調に推移しました。欧州経済は、各国の都市封鎖をはじめとする感染予防対策の緩和により経済活動の正常化が進展し、景気の回復が持続しました。我が国経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う経済活動の停滞により、景気回復のペースは鈍いものとなりました。新興国経済は、東南アジアにおける新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動の停滞や中国経済の成長ペースの鈍化により、全体として回復は緩やかなものとなりました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、当第3四半期に世界的な半導体の供給不足等の影響による生産調整の影響があったものの、各地域市場の回復が持続し、当第3四半期連結累計期間では全体として大幅に増加しました。民生・業務機器市場は、各地域市場における需要が持続し、全体として増加しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比20.9%の増加、金額では前年同期比24.7%の増加となりました。しかし、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間の販売計画に対しては、数量で4.2%の減少、金額で3.9%の減少となりました。これらの結果、当第3四半期の売上高は1,013億3千5百万円（前年同期比24.7%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は1,013億6百万円（前年同期比24.7%増）となっております。

営業利益につきましては、銅や鋼材等市況品の上昇による原材料費の増加といった減益要因はあったものの、販売数量の増加、売価・プロダクトミックスの改善等の増益要因もあり、111億1千8百万円（前年同期比71.9%増）となりました。経常利益は、営業利益の増加及び為替差損益の改善等により、155億3千3百万円（前年同期比166.0%増）、税金等調整前四半期純利益は152億4千万円（前年同期比106.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億6千5百万円（前年同期比163.6%増）となりました。

#### ① 自動車電装機器市場

売上高は742億5千8百万円（前年同期比27.4%増）と増加しました。パワーウインドウ、パワーシート及びパークキングブレーキ用等の中型電装、並びにドアロック、ミラー及びエアコンダンパー用等の小型電装ともに、当第3四半期において、世界的な半導体の供給不足等の影響による生産調整の影響があったものの、自動車需要の回復を背景として堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間では大幅に増加しました。

#### ② 民生・業務機器市場

売上高は270億4千8百万円（前年同期比17.8%増）と増加しました。家電・工具・住設及び事務機器用が、在宅勤務や巣ごもり需要を背景として堅調に推移し大幅に増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して147億7千5百万円増加し、2,773億3千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、たな卸資産の増加127億5千万円、有形固定資産の増加56億1千5百万円、当第3四半期に取得したElectromag SAに係るのれんの計上等による無形固定資産の増加41億1千5百万円、配当及び自己株式取得等による現金及び預金の減少68億3千3百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に対して9億2百万円増加し、243億5千8百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、その他の固定負債の増加8億9千5百万円、賞与引当金の増加4億4千9百万円等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して138億7千3百万円増加し、2,529億7千6百万円となりました。為替換算調整勘定が115億5千万円増加、利益剰余金が26億9千6百万円増加、純資産の部のマイナス項目である自己株式が15億4千6百万円増加、その他有価証券評価差額金が10億7千6百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

世界経済は、各国の大規模な財政出動の効果及び新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により景気回復が持続するものと見込まれますが、資源価格及び物流費の高騰、半導体をはじめとする部品の供給不足、並びに中国経済の減速といった景気の押し下げ要因があり、依然として先行きに不透明感があります。米国経済は、ワクチン接種の進展による感染状況及び雇用環境の改善に伴う個人消費の活性化を背景として、堅調な回復が予想されます。欧州経済は、各国の都市封鎖をはじめとする感染予防対策の緩和により経済の正常化が進展し、堅調な回復が見込まれます。我が国経済は、ワクチン接種の進展に伴う活動制限の緩和を背景として、個人消費の改善が見込まれ、緩やかに回復する見通しです。新興国経済は、東南アジアでは感染状況の改善に伴う経済活動の再開が見込まれるものの、中国では不動産規制の導入及び電力供給の制限により経済成長ペースが鈍化するものと予想され、

全体として成長ペースは緩やかなものにとどまる見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、世界の自動車需要の回復を背景に堅調に推移するものと見込まれますが、半導体をはじめとする部品の供給不足の影響により自動車生産台数が下振れする懸念があります。民生・業務機器市場は、各地域市場において需要の増加が見込まれ、全体として回復が予想されます。

このような状況から、連結業績予想並びに配当予想につきましては、変更を行っておりません。今後、経営環境にきわめて重大な変化が生じた場合は、業績予想、配当予想並びに自己株取得等の株主還元を適宜見直し、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	110,018	103,185
受取手形及び売掛金	24,729	22,321
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	22,249	30,199
仕掛品	989	1,538
原材料及び貯蔵品	9,280	13,532
その他	4,789	4,848
貸倒引当金	△163	△148
流動資産合計	173,394	176,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,328	54,173
減価償却累計額	△29,467	△31,614
建物及び構築物 (純額)	20,860	22,559
機械装置及び運搬具	68,430	78,784
減価償却累計額	△36,914	△44,209
機械装置及び運搬具 (純額)	31,515	34,574
工具、器具及び備品	19,976	21,672
減価償却累計額	△15,944	△17,875
工具、器具及び備品 (純額)	4,031	3,796
土地	6,589	6,613
建設仮勘定	14,016	15,085
有形固定資産合計	77,014	82,630
無形固定資産		
のれん	—	3,919
その他	1,065	1,261
無形固定資産合計	1,065	5,180
投資その他の資産		
投資有価証券	9,254	10,520
繰延税金資産	578	751
その他	1,658	1,306
貸倒引当金	△405	△31
投資その他の資産合計	11,085	12,547
固定資産合計	89,164	100,357
資産合計	262,559	277,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,486	6,338
未払法人税等	1,934	1,970
賞与引当金	233	683
役員賞与引当金	176	137
その他	9,361	9,243
流動負債合計	18,193	18,373
固定負債		
長期借入金	380	251
株式等給付引当金	241	53
退職給付に係る負債	2,051	2,141
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	2,203	2,256
その他	357	1,253
固定負債合計	5,262	5,984
負債合計	23,456	24,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,424
利益剰余金	216,929	219,626
自己株式	△11,555	△13,101
株主資本合計	246,499	247,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,985	3,062
為替換算調整勘定	△8,928	2,621
退職給付に係る調整累計額	△545	△454
その他の包括利益累計額合計	△7,487	5,230
新株予約権	91	91
純資産合計	239,103	252,976
負債純資産合計	262,559	277,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	81,249	101,335
売上原価	58,064	73,604
売上総利益	23,184	27,731
販売費及び一般管理費	16,717	16,613
営業利益	6,467	11,118
営業外収益		
受取利息	574	383
受取配当金	165	170
為替差益	—	2,440
スクラップ材料売却収入	764	1,485
その他	409	406
営業外収益合計	1,913	4,886
営業外費用		
株式関係費	115	116
為替差損	1,890	—
減価償却費	102	132
その他	432	223
営業外費用合計	2,541	471
経常利益	5,839	15,533
特別利益		
固定資産処分益	8	4
投資有価証券売却益	2,382	—
新株予約権戻入益	7	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	—	256
特別利益合計	2,399	260
特別損失		
固定資産処分損	64	105
臨時退職金	138	18
生産子会社閉鎖損失	414	—
感染症関連損失	250	427
ゴルフ会員権売却損	—	1
特別損失合計	867	552
税金等調整前四半期純利益	7,371	15,240
法人税等	3,212	4,274
四半期純利益	4,159	10,965
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,159	10,965



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	4,159	10,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,444	1,076
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△3,603	11,550
退職給付に係る調整額	96	91
その他の包括利益合計	△5,948	12,718
四半期包括利益	△1,789	23,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,789	23,683
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2021年2月12月開催の取締役会決議に基づき、自己株式455,300株(取得価額1,999百万円)を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は13,101百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループは各国のコロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小した影響を受けております。この状況により前連結会計年度中は一時的な需要低下があったものの、当期以降、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々にコロナ以前の水準に回復していくと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の認識判定)に反映しております。

なお、新型コロナウイルスの収束時期や将来的な影響は依然として不透明であり、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

## (セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,114	40,723	13,994	18,417	81,249	—	81,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,291	42,647	1,196	59	91,196	△91,196	—
計	55,406	83,371	15,191	18,476	172,445	△91,196	81,249
セグメント利益又は損失 (△)	1,988	4,073	347	△497	5,911	555	6,467

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,342	51,125	18,637	22,229	101,335	—	101,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,678	57,067	2,611	63	124,420	△124,420	—
計	74,020	108,193	21,248	22,293	225,756	△124,420	101,335
セグメント利益又は損失 (△)	4,564	7,424	570	△463	12,095	△977	11,118

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、Electromag SAの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「ヨーロッパ」セグメントにおいて3,919百万円のものれんが発生しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

### 1 企業結合の概要

#### (1) 被取得企業の名称及び事業の概要内容

被取得企業の名称 Electromag SA (以下、Electromag社)  
事業の内容 医療機器用のモーターの製造

#### (2) 企業結合を行った主な理由

当社は「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念とし、その実現のため「長期経営方針」を掲げ、その実行プランとして2023年を最終年度とする「中期経営計画」を遂行しています。中期経営計画では「社会やお客様が抱える課題の解決に資するソリューションを提供し、お客様のビジネスの成功と拡大を通じて当社ビジネスが飛躍的な成長軌道に乗っている姿」を目指す姿とし、「健康・医療用途の拡大」、「民生・業務機器用ブラシレスモーターの新製品開発と受注拡大」を重点取組事項の一つと位置付け、活動を推進しております。

Electromag社は、人工呼吸器(医療機関向け・CPAP※等の家庭向け)・歯科治療用ハンドピース等の用途に特化したスイスのブラシレスモーターメーカーであり、静音・低振動・高速回転などの医療機器用途に適した高特性ブラシレスモーターの開発・製造技術を有し、医療機関向けの人工呼吸器用モーターにおいては高い市場シェアを誇る世界有数の医療機器用モーターメーカーであります。

Electromag社の有する健康・医療用途領域における技術・ノウハウ、またブラシレスモーターの製品ラインナップ・開発能力を獲得し活用していくことで、重点取組事項の推進を一層加速させ、当社の目指す姿、さらには経営理念の実現に向けて邁進してまいります。

※ Continuous Positive Airway Pressure : 圧力を加えた空気を鼻腔経路で送り込み気道を広げることにより、睡眠時の無呼吸を防止する装置

#### (3) 企業結合日

2021年7月6日 (みなし取得日 2021年9月30日)

#### (4) 企業結合の法的形式

株式取得

#### (5) 結合後企業の名称

変更ありません。

#### (6) 取得した議決権比率

100%

#### (7) 取得企業を決定するに至った主な経緯

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

### 2 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2021年9月30日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

### 3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内容

当事者間の守秘義務により非公開とさせていただきますが、第三者による株式価値の算定結果を勘案し決定しており、公正な価格と認識しております。

### 4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

#### (1) 発生したのれん金額

3,919百万円

なお、上記の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

#### (2) 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

(3) 償却方法及び償却期間

効果が発現すると見積もられる期間で均等償却します。